

中島利郎(岐阜聖徳学園大学教授)／横路啓子(輔仁大学副教授)編 ●9月刊予定

『台湾日日新報』近代文学関係作品 目録 昭和編・1926~1944

●B5判・上製／全約800頁 ●予価30,000円+税
ISBN978-4-89774-155-0 C3098

日本統治期最大の日刊紙であった『台湾日日新報』に掲載された近代文学関係作品（小説、隨筆、評論、詩、児童文学、書評、コラム、戯曲）を網羅した目録（短歌や俳句、漢詩等の伝統文学は除外）。日本統治期の昭和の台湾にどのような文学が「内地」から移入されたのか、また、在台の日本人や台湾人作家の作品ではどのようなものが掲載されたのか、台湾文学研究者はもとより日本近代文学研究者やポストコロニアル研究者、文学研究機関、大学や公立図書館に必備の目録（目録中＊印は本紙の作品は台湾関連の作品を示す）。

付・日本統治期台湾新聞簡易年表／著者名索引

- 五月五日：*石川生「東台湾印象記 2」
五月五日：東郷生「港湾行脚 (2)」
五月五日：直木三十五作・寺島紫明画「大空に立つ (90)」
五月六日：松田豊次「創作 或る男女の話」
五月六日：無記名「郷土芸術家に献ぐ 北村透谷の記念碑成る」（記事）
五月六日：*保坂瀧雄「戯曲 妻と鸚鵡—三部作一(下)」
五月六日：壬生寿人「古き和蘭の城」（詩）
五月六日：友寄波月「悲哀の底に浮かぶ快感」（隨筆）
五月六日：*豊永曉流「自称廻間頬詩人の詩」（詩）
五月六日：*中間穂浪「逃避者 煙草の煙」（詩）
五月六日：直木三十五作・寺島紫明画「大空に立つ (91)」
五月七日：松波治郎「悩みの彼岸 (15)」
五月七日：衛藤生「新興支那を見る (20)」
五月七日：*欽一盧「京の春」
五月七日：森曉紅「元禄小唄 (290)」
五月七日：*石川生「東台湾印象記 3」
五月七日：東郷生「港湾行脚 (3)」
五月七日：直木三十五作・寺島紫明画「大空に立つ (92)」
五月八日：松波治郎「悩みの彼岸 (16)」
五月八日：*欽一盧「復興の帝都」
五月八日：*躬耕庵「書斎余録 晩節」
五月八日：森曉紅「元禄小唄 (291)」
五月八日：*石川生「東台湾印象記 4」
五月八日：直木三十五作・寺島紫明画「大空に立つ (93)」
五月八日：原作ひろすけ・脚色大森武郎「児童劇 呼子鳥」
五月八日：栗島英衣「漫談 からかさ」
五月八日：栗津勲「童話 桃杞の実る頃」
五月九日：松波治郎「悩みの彼岸 (17)」

内容見本（1929・部分）

中島利郎／莫素微(中華科技大学助理教授)編

●12月刊予定

周金波日本語作品集 第二集

●A5判・上製／約350頁 ●予価7,000円+税 ISBN978-4-89774-156-7 C3098

日本統治期の台湾近代文学を代表する台湾人作家の一人周金波の作品及び関係資料。今回第一集（品切れ）刊行後に発見した作品類や関係資料を収録。

内容

グラビア

一、長編小説「逞しき群像」

第一回～第一二回：「帰郷」

第一三回～第二四回：「海」（第二〇回欠）

第二五回～第三六回：「怨敵」

第三七回～第四二回：「家」（未完）

二、台湾文学集版「志願兵」

三、小説・隨筆

読切小説「悪魔の使徒」

隨筆「言挙げせぬ国」

辻小説「横丁之図」

四、周金波・戦後日記抄

五、映画関係資料

1：解説

2：「女真珠王之復讐」続片『女真珠王之挑戦』（中国語）

3：その他（紗容之恋／碎心花／風雲）

付録

資料1

張文環来函／林博秋来函／吳建堂来函

資料2

周金波研究論文目録

編者あとがき

緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋1-13-1

☎03(3579)5444

振替 00140-8-56567